



◀地域学校連携施設(東中
校舎内)での「エアロビクス」
教室

東部地区

住民が気軽に体を動かせる
機会を提供していこう！

市内中心部黒川沿いの東部地区では、昨年の市の提案を受け、従来の体協支部組織を中心に総合型地域スポーツクラブ検討のための小委員会を立ち上げました。地域のスポーツ振興を担う組織として、住民のためにどんなことができるか、会合を重ね真剣な話し合いがなされてきました。そして、まずはできることから少しずつ実践していこうと新たな活動を展開しています。

東部地区のこれまでの取り組み

- ・小委員会開催(7回)
(体協支部を中心としたスポーツ関係者)
- ・地区内住民へのアンケート調査実施
- ・ウォーキング大会開催
- ・ニュースポーツ講習会実施
- ・地域スポーツ教室実施(東中地域学校連携施設)
「健康と運動について」の講話
「エアロビクス」教室開催(毎週土曜日夜)
(現在も開催中: 11月~3月)

加蘇地区

地域のために...
準備研究会発足！

加蘇地区では、体協支部組織を中心に地域の様々な関係者が集まって会合を持ち、説明会を聞くとともに活発な話し合いがなされてきました。

もともと地域の活性化には積極的に取り組んできた地域だけに住民の意識は高い。しかし、人口も少なく、恵まれた施設があるわけでもない。新しいものを作るというより、今までのものを十分に生かし、さらに住民のパワーを集めてよりよい地域づくりにより少しでも役に立てればと、有志による準備研究会を発足させました。

高い高齢化率に伴う高齢者への健康・生きがいづくりや青少年の健全育成、少子化によるスポ少活動の停滞など、地域で真剣に考えていかなければならない課題は多い。行政に頼るだけではなく、自分たちでできることは自分たちで何とかしていこうとする姿勢を大切にしながら取り組んでいます。今後、コミュニティセンターや学校施設などにおいて市の地域スポーツ支援事業を活用して、健康と運動に関する講話やエアロビクス・太極拳・ウォーキングなど健康づくりを中心とするスポーツ活動の実施を予定しています。

... 加蘇地区会議での主な意見 ...

- ・住民が主体的に取り組むのは大変ではないか...
- ・これからの地域のあり方を真剣に考えるいい機会。
- ・行政まかせでは地域は活性化しない。
- ・地元でいろいろな活動ができるシステムは必要。
- ・高齢者の健康・生きがいづくりは、地域でも対応していかなければならない課題。(高齢化率が高い)
- ・スポーツに限らず、趣味や娯楽も含め柔軟に対応できるようにしていくと良いのではないか。
- ・これまでの体協支部は、なくなってしまうのか?
- ・逆に体協支部が、より充実した体制になるとらえればよいのでは...。大切なのは、住民のためになる活動を展開すること。
- ・会費制のクラブ運営は、難しいのではないか。
- ・あまり金のかからない方法を検討していこう。
- ・いろいろ課題もあるだろうが、地域の特性を生かし、できることから少しずつ進めていこう。
(立派なものではなくていい。加蘇らしくいこう)



加蘇地区会議風景

少しずつではありますが、新しい地域活動への取り組みが動き出しました。
”元氣なかめまをつくるのは、元氣な地域であり、元氣な住民のみなさんです。
自分たちの住む地域をスポーツ活動で元氣にしていこうとする、この取り組みに対し、市もできるだけの支援をしていきます。

教育委員会スポーツ振興課

FAX ☎
(63)(63)
2 2
1 2
1 5
8 5